

会 告

第 54 回 東北臨床細胞学会学術集会開催について

会期	平成 29 年 7 月 1 日 (土)
会場	東北大学医学部良陵会館 〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町 3-34 TEL ; 022-227-2721
参加費	1,000 円
懇親会費	2,000 円

プログラム要項

テーマ ～細胞診の新たな発展・展開に向けて～

1. 9:30～ 役員会
2. 10:45～ 特別講演「HPV ワクチンについて(仮)」
講師 川名 敬 先生 (日本大学医学部産科婦人科学)
3. 12:00～ ランチョンセミナー (ホロジックジャパン株式会社共催)
「口腔領域の細胞診について」
講師 田中 陽一 先生 (東京歯科大学市川総合病院臨床検査科病理)
4. 13:20～ シンポジウム各県 1 題
「細胞診の新たな発展・展開に向けて～セルブロックや LBC などの活用と問題点、
免疫染色や遺伝子検査などへの応用など～」
5. 15:30～ スライドカンファレンス 3 題
6. 16:45～ 懇親会 (東北大学医学部良陵会館 1 階)

<シンポジウム企画のことば>

近年の標的治療やオーダーメイド医療などの発展に伴い、遺伝子や標的蛋白などに対する分子病理学的な需要はますます増加してきている。それに伴い、細胞診検体に対しても形態のみでの判定を超えた内容が要求されるようになってきており、特に組織標本が採取しがたい領域において重要な位置づけをなしてきている。2016 年の診療報酬改定においては、胸腹水などのセルブロック作成が保険収載され、細胞診検体において免疫組織化学を行うことは一般的になりつつあるが、セルブロック診断の取り扱いに関する問題も残されている。また肺癌における細胞診検体での ALK 遺伝子変異の有無など、分子病理学的な領域においてもさらに様々な応用がなされることが期待される。今後の細胞診の新たな発展に向けた取り組みをこのシンポジウムでは論議していきたい。

第 54 回東北臨床細胞学会学術集会事務局
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 5-7-30
宮城県対がん協会 細胞診センター内
TEL ; 022-263-1525 FAX ; 022-262-3775
実行委員長 渡辺みか
事務担当 青野佳美 鷲尾尚子
E-mail ; jscmiyagi@miyagi-taigan.or.jp